

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			○	横浜市ガイドラインを確認しながら見直ししている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	前回参加出来ず、次回参加予定
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	看護師がいない為、受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	企画中

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	該当児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

職員による自己評価

A環境面

- ・スペースを少し変更したところ、あまり狭さを感じなくなった。
- ・玄関まで階段があり、バリアフリーにはなっていない。

B児童への支援内容

- ・レクリエーションや行事で多くの経験を積めるよう企画している。
- ・社会性を養うためのお買い物学習やこども会議を実施している。

C関係機関との連携

- ・ケース会議などは毎回参加し、区役所のケースワーカーや児童相談所の方々とも細かく情報共有している。
- ・送迎時には学校での様子を必ず確認している。
- ・気になったことがあれば学校に連絡して確認するようにしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時や連絡帳でその日の様子は細かくお伝えするようにしている。
- ・月間通信を配布している。
- ・毎日 SNS で活動報告を行なっている。

E非常対応

- ・年2回実施して、連絡帳や通信で親御さんへも実施状況をお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・玄関までの階段がある。
- ・職員さんには満足している。

B児童への支援内容

- ・色々な行事などを企画してくださり、楽しく利用できている。
- ・長年利用して成長を感じている。

C事業所からの情報発信

- ・学校であったトラブルなども話や相談させていただくこともあり、利用中に気にかけてくださっているのありがたい。
- ・送迎や連絡帳でも利用時の様子を伝えてくれている。
- ・SNS で毎日活動を配信してくれているので、何をしているかがわかりやすくてありがたい。

D非常対応

- ・マニュアルも配布され、避難訓練も行なってくれている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・日々のレクリエーションや行事の豊富さ
- ・SNS での配信で活動を確認いただけている
- ・ご家族への細かい報告や対応

【相違点】

- ・特になし

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・日々のレクリエーションや行事は、楽しみながら経験を多く積めるようにしている。
- ・個々に応じた課題からの支援を計画して支援している。
- ・毎日 SNS での活動報告
- ・電子連絡帳の活用

### 事業所の改善点

- ・父母会の実施

### 事業所の改善への取り組み

以前はご家族からも父母会の実施はあまり求められていなかったが、子供達も高学年になり、父母会実施の要望が出るようになってきた。次年度では相談会や勉強会という形で定期的実施していく予定。

#### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年度いただいたご意見から改善を実施できた。

なかなか面と向かっては言えないことも多いと思うので、こういった機会にご意見をいただき改善できることはありがたい。

事業所名 放課後等デイサービス ジュン あさひ  
担当者 高橋 絵里